

教科	科目	学年	単位数
国 語	現代の国語	1 年	2
使用教科書		副教材	
精選現代の国語 東京書籍		品詞別頻出漢字マスター3000 尚文出版 新総合図説国語 東京書籍 精選現代の国語学習課題ノート 東京書籍	

1. 学習到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解する力を育成するとともに、現代社会の諸問題に関する知識を深める。また、自らの考えを適切に表現する力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばして国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

2. 評価の観点と方法

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。定期試験、授業における小テスト、提出物などを総合的に評価する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。定期試験、授業における小テスト、提出物などを総合的に評価する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。授業態度、課題への取り組み状況、提出物などを総合的に評価する。

3. 学習内容

☆の付いている教材は全てのクラスで扱い、☆のない教材は状況によって扱うこととする。ただし、学習状況により、次の表に挙げられていない教材や、教科書未掲載の教材に差し替えることがある。また、知識の応用に繋げるため、定期テストには授業で扱った教材に関連する実力問題を含む。

	月	単元	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4	認識を深める	☆水の東西	- 日本と西洋の水に対する感じ方の違いを読み取る。 - 指示語の指示内容を理解する。 - ノートの使い方を習得する。 - 到達目標の振り返り。
		自己と他者	☆届く言葉	『『はやぶさ』プロジェクトの説明のうまさ』はどのような点にあったのかをまとめる。 「届く言葉」と「届かない言葉」の対比を読み取る。 - 到達目標の振り返り。
	5	認識を深める	今ここにある無数の未知	- 筆者の「旅」についての主張を的確に読み取る。 - 自己との関係の中で世界についての考えを深める。 - 到達目標の振り返り。
	6	言葉と社会	☆言葉は世界を切り分ける	「言葉の『面』としての意味」を具体例とともに理解する。 - 異なる言語が世界を異なる仕方で分割していることを理解する。 - 到達目標の振り返り。

二 学 期	7	言葉と社会	まちの豊かさとは何か	・「豊かさとは何か」について、一般的な考えと筆者の考えの違いについて読み取る。 ・コミュニティのあり方について考察を深める。 ・到達目標の振り返り。
		言語	ものと記号	・「言葉らしいもの」という概念」を読み取る。 ・人間の行う「解釈」とはどのようなものかを、自らの状況を踏まえて考える。
		8	平和	☆少女たちの「ひろしま」 ・「戦争の遺品」に対する筆者の驚きを理解する。 ・「広島 of 死者と自分をつなぐ回路」の発見を理解する。 ・到達目標の振り返り。
	10	9	共に生きる	・現代社会における「できる」「できない」の構造と、それが人生に及ぼしている影響について読み取る。 ・筆者の主張する「自立」の意味を、自らの状況を踏まえて考える。 ・到達目標の振り返り。
			自立と市場	・「自立」と「市場」の性質をそれぞれまとめ、その関係性を理解する。 ・「自立」と「依存」の関係について、自らの状況を踏まえて考える。
		世界を広げる	☆「無駄」と進化	・「不均衡進化論」の内容をまとめ、理解する。 ・『「無駄」な変異』を許容することの大切さを理解する。 ・到達目標の振り返り。
			環境	・「動的平衡」の考え方を理解する。 ・生物多様性の必要性について、自らの状況を踏まえて考える。 ・到達目標の振り返り。
		11	共に生きる	・筆者の「能力」の捉え方を理解する。 ・「予防」と「予備」についてまとめ、自らの状況を踏まえて理解する。
		12	世界を広げる	・コミュニケーションに関するシャノンらの考え方を読み取り、まとめる。 ・『「自らの人生を生きる」という行為』が重要である理由を、「人工知能」との対比を踏まえて理解する。
三 学 期	1		☆白	・「推敲」とインターネットが生み出す「新たな知の基準」との美意識との違いを読み取る。 ・「白」が人間の意識に及ぼしている影響について、自らの状況を踏まえて考える ・到達目標の振り返り。
	2			
	3	A I	機械は言葉を理解できるか	・「見えない文脈」や言葉の「適用範囲」などの意味を理解する。 ・「言葉を理解している」とはどういうことかを読み取る。

4. その他

副教材の漢字は授業外の課題とし、別に範囲を指定する。